

京都大学淡水生物研究会



京都大学淡水生物研究会（淡水研）は、京都大学の学生を中心とした、淡水生物好きの集まりです。2016年の発足以来、湿地帯での採集や研究、知識や意見の交換、学祭での展示などをを行っています。淡水生物に魅せられた約90人が所属し、各々がフィールドに赴いて観察や採集を行っています。

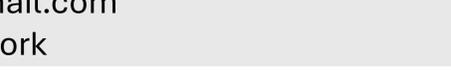
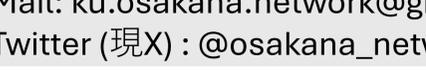
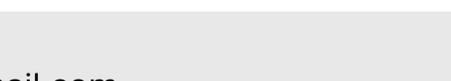
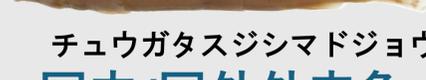
鴨川での活動

古都・京都の真ん中を流れる鴨川は、古くから京都の人々に親しまれてきた一方で、魚類相の全貌は不明でした。当研究会では、2023年の一年間で鴨川流域の周辺の120地点以上で魚類相調査を行い、以降調査を継続しています。現在生息している魚だけではなく、博物館標本などの調査によって過去の魚類相に関する知見も収集しています。2025年2月時点で、鴨川流域から65種の魚類を確認しています。

山間部の魚

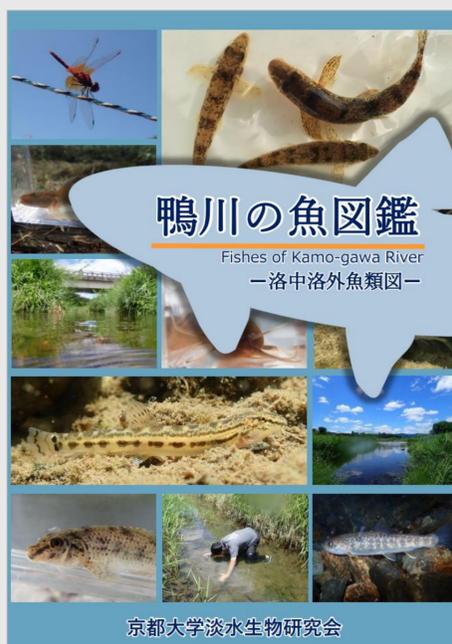


都市部の魚



『鴨川の魚図鑑』の制作

鴨川で見られる魚類を確実に見分けられるもの、現時点での魚類相の確実な記録となるものを残すため、2023年度に『鴨川の魚図鑑』を制作しました。これまでに確認されている全種について豊富な写真付きで識別点を詳述し、またできるだけ多くの種について標本を作製して京都大学総合博物館に登録しています。知見のアップデートに合わせて、適宜改訂を行っています。



京都府他地域・府外での活動

桂川や宇治川、木津川などの淀川水系や、由良川や丹後半島周辺河川などの日本海側の淡水魚類についても調べています。淡水研を名乗りながら海水支部も存在しており、全国津々浦々の湿地帯でフィールドワークを行っています。



Twitter (現X)



BOOTH



ホームページ

各種連絡先

Mail: ku.osakana.network@gmail.com

Twitter (現X) : @osakana_network